

寺 報

龍正寺

日なた 122号



龍正寺本堂前にて

<平成30年7月>

宝龍会
護持会

— 経 職 — 言 — 『御 盆』

平成30年御盆を迎える時期が来ました。

暑い毎日です、お身体に充分気を付けて下さい。

先日大阪北部を中心とする地震が起き、被害地の方々にお見舞い申し上げます、また地震より犠牲になられた方々には、心から御冥福申し上げます、一日も早く復興されます事お祈り申し上げます。

さて7月・8月は盆の月です、両月とも盂蘭盆会と申します、この時は故人となった御先祖様方が一年に一度お歸りになされる期門(13日～16日)です、御家族の皆様お揃って迎えをし、好物などのお供えしたりして、施こしをして故人を偲び子孫に伝え、仏壇・お墓・お寺へお参りをしたりして敬まいの心を、子供、孫へ伝えていく時であると思います。

お経の中に「蓮華の台の上に乗って」とあります、龍正寺の門前では、お盆を迎える

晴日に美しく綺麗な蓮の華が咲き初めました、
まだまだ小さな華芽が出ており、蓮の葉
・華にぞやかです、

心が癒される華です、

私たちも蓮華の台に乗って偉せな日々
を送って下さい、

仏様 御先祖様に合掌いたしますよう、

表紙は今年龍正寺の門前で咲いた
蓮華です。

合 掌

「身が苦」

私が経営者の端くれとして、失敗を繰り返して
来ながらも何とか今年で19年目を迎える事となりました。
色々事が有りまして... 大きな波も小さな波も
雨の日も嵐の日も有った事に思い出します。
正直言えど設立当初は「10年もでくれば...」と
思っていました。私の少量の努力と従業員のカ
と守護の下さる大きな力とが合えば、この年月を
迎える事は感謝しております。

振り返ると平坦な道ばかりで、テコボコ道ばかりで、
目の前に水溜りがあるを避け水に足を入れてしまう様な
時を何度も有りました。

その中で今に歩んで来たのは、功を成した経営者達の言葉
や、コンパニオンの机上論や、スポーツ選手の根性論でなく、
小さな会社の無名の経営者の素朴な姿と朴直な教え
でした... 「磨く」とは「身が苦」受難の日こそ恵みだ
という教えでした。

その教えを奉じ、自分の人生に吸収する事で大くの試練を
越える事が出来ました。

本当に私の人生は失敗ばかりの人生だった事に思えます。
私自身中々と進歩が遅く、自分でも歯がゆく思う
時が時々あります...

先日也。商談の為に名古屋駅の高層ビルに
向かいまして...
高層階から街並を見下していると、人が豆粒の様に
小さく見えます。
その多くの人達にもそれぞれの別々の道があり、
それぞれの苦しみや悩みがあるのだろうと
眺めていました...
神様仏様はその人に合った苦しみと悩みを与えて
成長を促しているのか？ これを必然なのか？ と
自問した日もありました。
私も水溜りを避けて通れない時は意味の有る
行動として受け止め、少し気持ちや想いを変えて
迂回する道を選ぶ様にと考えておりました...
私のこれまでの50年の人生は身に余る程の恩恵を
頂けながらも、失敗と後悔の連続でしたか、
残りの半生は同じ轍を踏み人生を歩んで行き
たいと願っています。

一 七面山の妙法を感じて 一

今年、3年連続参詣成就が出来ました。何かあるたびに参詣して、成就するたび、確かな学びを頂いて来ました。今年、3年目の成就にあたりやはり、2ヶ月前より体調の不具合が生じていました。今の体と精神的に不安定な状態で参詣成就できるだろうか…。しかし、今年行けないとまた、スタートラインに戻る事になる…。考えれば考えるほどドンドン深い気持ちに押しつぶされそうでした。

ある朝、いつものお経中にふっと“行ける、”と強く感じるものがありました。その言葉に何のためらいもなく、素直に「はい」と言いました。

今回は天候も良く、登山中の心地良い疲れも、おかあかい風とどこからとなく香る甘く優しい香りに、勇気、元気を与えて頂きながらの参詣が出来ました。

そして、今回は初めて敬慎院の山門で富士山を観る事が出来ました。それはこのうえのない美しさでした。

山門をくぐり、後ろを振り返ると山門がまるで空頁緑のように、富士山がすっぽりと入っている。自然のすばらしい絵画でした。

一の池では、今までに経験した事のない場面を何度も
観せて頂きました。その数々の出来事は、とても言葉で表現
して、お伝えできるものではありません。

その事柄は 視覚・聴覚・臭覚などを全身全霊で七
面大明神様の妙法を感じる経験が出来ました。

日々の生活に戻り、苦い出来事がありましたか、以前のように
やはり起きたか…。と言うような気持ちは全くありませんでした。

参詣前後に起きた苦い経験は必須だと思いました。

「人間力向上」していく為に必要な事が、幸せ・喜びであり
そこに気づく事が出来た事が、これから的人生の大きな心の「糧」に
なる」そして、心からの報恩感謝できるようにお教えを受け
たのだと心から感謝しました。

七面大明神様は必ず右手の鍵でかたくなな心の扉を開けて
下さり、左手で宝珠を授けて下さいます。

「もちろん”他力”ではいけません!」自らを見つめ直していく事で、
必ず幸せに近づけます。

皆様も是非、七面大明神様の元へ、敬慎院へ
参詣いたしましょう。

♡ ご奉仕の心 ~ ありがとう ~ ♡

ワールドカップで日本中が沸いているこの頃ですが皆さん、蒸し暑さにも負けず、体調崩されていませんか？

この日なつたを書かせて頂いた前日、日本サッカーチームが、決勝トーナメント進出を決めました。代表選手の呼びかけで、「来た時よりも美しく」大騒ぎになった東京渋谷では、歓喜の後、町中のゴミ捨いをする若者達の姿がありました。

私の家の近所でも、散歩をしながらゴミ捨いをする男性の姿をよく見ます。

話は変わりますが、小学二年生の息子が、お手伝いをしようとお皿を持って移動した時、中身の汁が床にこぼれて、一通り家事を終えていた私は、とっさに「持たなくていい!! 余計な仕事増やして...」と言ってしまう。手伝おうとしてくれた息子の気持ちに対して「ありがとう」が言えませんでした。

「ご奉仕の心」...。なかなかな出来ない事ですが、

とても大切な事だ"と思います。自分の身体を動か
して、誰か"喜ぶ、誰かの助けになる事をさせ
て頂く。そこには、ご奉仕をさせて頂く側にも
して頂いた方にも感謝の気持ち"生まれてい
ます。自分の事しか考えていたから、自分に
ざんげ、息子に「ありがとう」を伝えること"が
出来ました。この事に気付かせて頂いた事にも
感謝です"ね♡

日常の生活の中で、ありがとうは沢山!! 相手
にちゃんと伝えて、その分、沢山 お返しできたらいい
なあ"と思います。

< 7月の行事 >

7月 8日 (日) 13:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
盂蘭盆施餓鬼会大法要
(お盆 13日~16日)

7月 18日 (水) 10:00~ 鬼子母尊神・七面大明神初禱会
大古久尊天初願会

< 住職の予定 >

7月 13日 (金) } お盆 棚 経
14日 (土)

15日 (日) 13:00~ 送り盆 お経

7月 27日 (金) 京都 順妙寺・妙覚寺にて
勉強会

< 7月の予定 >

7月 1日 (日) 各々の時間で 報恩会・施餓鬼大法要
清掃・準備

7月 7日 (土) ↓ 飾り付け 準備 清掃

7月 8日 (日) 法要後 法要の片づけ、清掃及び

7月 9日 (月) 各々の時間で 初禱・初願会準備
初禱・初願会

7月 17日 (火) ↓ 清掃・準備